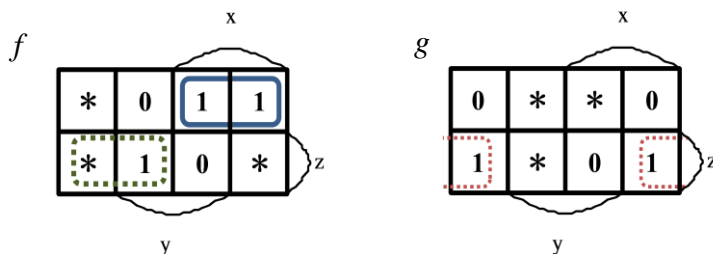


【6】 =====

(1) 積和形論理式

関数 $f(x,y,z)$ および $g(x,y,z)$ のベイチ図はそれぞれ下図のようになる.



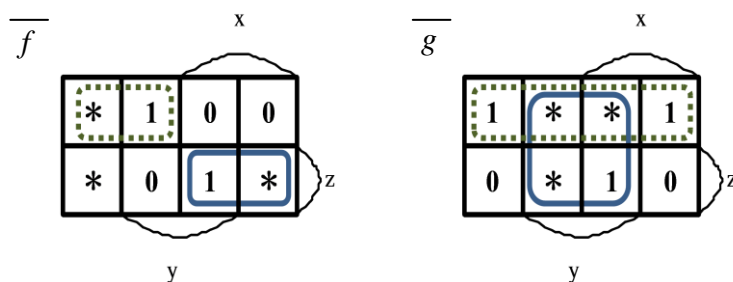
従って, 1 のマスを含めて被覆するような最小個数の主項 (ベイチ図上で少なくとも1つの1のマスを含み, 0 のマスを含まない AND 項) を求めると, 上図に示したものが得られる. そこで, これらの主項を用いて関数 $f(x,y,z)$ および $g(x,y,z)$ を表すと, それぞれ次の最簡な積和形論理式を得る.

$$f(x,y,z) = x \cdot \bar{z} + \bar{x} \cdot z$$

$$g(x,y,z) = \bar{y} \cdot z$$

(2) 和積形論理式

関数 $f(x,y,z)$ および $g(x,y,z)$ の否定の論理関数のベイチ図はそれぞれ下図のようになる.



そこで, これらの最簡な積和形論理式を求めると, 上図に示した主項から次式が得られる.

$$\overline{f(x,y,z)} = \bar{x} \cdot \bar{z} + x \cdot z$$

$$\overline{g(x,y,z)} = y + \bar{z}$$

これらより, 和積形論理式が次のように得られる.

$$f(x,y,z) = \overline{\overline{f(x,y,z)}} = \overline{\bar{x} \cdot \bar{z} + x \cdot z} = \overline{\bar{x} \cdot \bar{z}} \cdot \overline{x \cdot z} = (x + z) \cdot (\bar{x} + \bar{z})$$

$$g(x,y,z) = \overline{\overline{g(x,y,z)}} = \overline{y + \bar{z}} = \bar{y} \cdot \bar{\bar{z}} = \bar{y} \cdot z$$